

# 球磨川流域の復旧・復興に向けた取組み Vol.57



## 被災者の声から学ぶ「非常用持ち出し袋」の備え

非常用持ち出し袋とは、避難するときに当面必要となる最低限のものを納めたもの。令和2年7月豪雨で被災する以前から非常用持ち出し袋の備えを心掛けていたという温泉町の鈴木節子さんに話を聞き、実際にその袋の中身を見せていただきました。

### 鈴木さんの非常用持ち出し袋の中身

あくまで一例です。  
自分用にアレンジして  
準備しましょう。



### 洗濯カゴに非常用持ち出し品



何も持たずに避難してきた高齢者などに提供したり、避難が長期化した場合に使ったりできればと、非常用持ち出し品を洗濯カゴにセットして車内に常備しています。



- 水 タオル 下着 割り箸 歯ブラシ
- セット ティッシュ類 指サック ビニール袋
- 充電器 飲み薬 塗り薬 貼り薬
- はさみ 爪切り ばんそうこう マスク
- グテープ ペン 懐中電灯 カッター

- 歯ブラシセット 雨具にもなるジャンパー
- 紙コップ・割り箸などの使い捨て食器
- 乾パンやスープなどの食料品
- タオルケット ファスナー付き保存袋
- ウエットティッシュ タオル 化粧品
- 石鹸 軍手 薬 ティッシュ類 など

避難時は両手が自由に使えた方がいいので非常用持ち出し品を入れるバッグはリュックなど背負えるものにしてあります。リュックの大きさはいろいろありますが、一人分ならこのサイズのリュックに収まります。重さは背負ってみて重たくないと感じる範囲を目安にしています。

**貴重品は非常用持ち出し袋に入れずいつも持ち歩くバッグに入れ、肌身離さず持ち歩きます。**

鈴木 節子さん（温泉町）18歳の時、昭和40年7月水害を経験。平成23年から12年間務めた温泉町の民生委員・児童委員を今年3月に退職

問合せ先 人吉市防災課  
☎22-2111(内線3242)